

令和8年3月25日



担当部署	保健給食課
担当者	改田
電話	077-582-1143
FAX	077-582-9441

守山中学校の食育活動が『湖(うみ)っ子(こ)食育大賞』を受賞

～市内小中学校の受賞は2年連続！～

「湖っ子食育大賞」とは、各学校が特色を活かして取り組んだ食育活動のうち、他の地域においても参考となる取組を募集し、優れている取組に対して県教育委員会が表彰するものです。今年度は10校の応募があり、その中で守山中学校の取組が最も優れていると評価され、大賞を受賞しました。令和6年度には速野小学校が大賞を受賞しており、守山市はこれで2年連続の受賞となりました。

テーマ 「食で育てる心豊かでたくましい人」～食を楽しもう～

本校の学校目標「心豊かでたくましい人を育てる」に合わせ、自分で適切な食の選択ができる自立した生活を目指した取組を行った。

守山中学校の主な取組み

○家庭科「バランスの良い献立作り」のICTを活用した指導

家庭科の授業で「何をどれくらい食べればよいか」をテーマに、個人のChromebookを使ってバランスの良い献立作りを支援するスプレッドシートを活用し、生徒が彩りや栄養バランスを視覚的に理解できる工夫を行い、食生活の見直しにつながる学びを促した。

○環境学習で給食が出来るまでを知り、持続可能な献立を考える授業の実施

守山中学校の1年生は、総合的な学習の中でSDGsの視点から給食の残食削減を目標に掲げ、給食の意義や栄養、調理過程を学び、人気メニューや地産地消、栄養バランスを考慮した献立作成を行った。さらに、校外学習での農業や物流、食品加工の学びを踏まえて年度末に再度献立作成を実施した。昨年度作成された献立は今年1月、給食として提供された。

○学級活動「成長期の望ましい食事」の指導

3年生では、将来の自立した食の選択に備え、正しい食事のとり方をゲーム形式のカード学習を通じて栄養素とその働きを楽しく学び、ライフスタイルに合わせた食事法を考える時間を設け、生徒は具体的な改善策をワークシートにまとめた。

○継続的な食育指導

毎月、献立の食品群分類や食の知識、残食結果を食育掲示板で掲示し、食育に係るクイズやくじ引き、食材の展示などで生徒の関心を引いている。また、給食時には各学級を巡回して食材の説明を行うほか、調理員と一緒に巡回し、給食への感謝の気持ちを育てている。また、年に4回ほど、学校独自の食育通信を各家庭に配信し、保護者にも食への関心が高まるよう働きかけている。